

# 感謝状 贈呈者一覧

総務部総務課

## 【感謝状】

\* 敬称略・五十音順

区分	氏名(年齢)	功績
資料提供	しょうじ たけひさ 庄司 武久(77)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治時代刊行の「松陽新報」所蔵者、松江市宍道町在住</li> <li>・明治時代、島根県で刊行されていた数少ない新聞のうちの一つ、「松陽新報」をまとめて所蔵されており、明治38年2月22日竹島が島根県所属となったことや明治39年の竹島・鬱陵島への島根県調査団の行動等に関する記事を提供いただいた。初めて「山陰新聞」以外の新聞でも、島根県の竹島所管が報じられていたことがわかり、竹島に関する研究の新たな資料となった。</li> </ul>
資料提供	てさき こ 手崎 りえ子(71)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西郷地区の森山缶詰の森山秀之助氏の長女、千葉県長生郡白子町在住</li> <li>・森山秀之助氏は、昭和10年代に竹島へ出かけ、サザエの缶詰及びボタン加工を行っていた工場「森山缶詰」の経営者。西郷地区にあった工場内で、サザエの缶詰やボタンの加工が行われている様子の写真を提供いただき、竹島で獲れた漁獲物の水産加工の実態が初めて明らかになった。竹島に関連した経済活動を示す貴重な資料である。</li> </ul>
資料提供	のづ ゆたか 野津 豊(84)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元島根県水産部漁政課職員、東京都板橋区在住</li> <li>・昭和29年5月、隠岐の久見漁協の組合員等で最後の竹島での漁業権を行使した際、島根県の取締船「島風」に島根県水産部漁政課職員として同乗。その歴史的な体験を証言されたことを始め、その時の竹島や渡航の状況を写した写真を提供いただき、竹島での漁業の記録として大変貴重な資料となった。</li> </ul>
資料提供	やわた ともゆき 八幡 智之(62)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八幡伊三郎氏(故人)の孫、隠岐の島町久見在住</li> <li>・八幡伊三郎氏は昭和11年から昭和13年まで4回竹島でかなぎ漁を行っていた、かなぎ漁の名人。竹島でのかなぎ漁の実態を記した日記と、竹島でのかなぎ漁でも使用した箱めがね(かがみ)を提供いただいた。いずれの資料も竹島でのかなぎ漁の実態を示す重要な資料である。</li> </ul>
証言	よしだ とおる 吉田 徹(81)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神福丸船長吉田重太郎氏の孫、隠岐の島町栄町在住</li> <li>・吉田重太郎氏は昭和初期に竹島漁猟で使用していた運搬船、「神福丸」の船長。神福丸のイラストの提供を受けたほか、神福丸の運搬船としての実態、竹島の土産としてアシカの油で作った塗り薬などについて、具体的証言をいただいた。竹島の運搬船の実態が明らかとなったのは初めてのことである。</li> </ul>

## 【参考】

## 知事感謝状贈呈 経緯

	特別表彰	資料提供	研究協力	証言	翻訳	計
H19. 2. 22	0	5	3	0	0	8
H20. 2. 22	0	4	0	3	0	7
H21. 2. 22	0	4	0	2	0	6
H22. 2. 22	0	1	0	1	0	2
H23. 2. 22	0	2	0	2	1	5
H24. 2. 22	0	3	0	0	0	3
H25. 2. 22	1	2	0	2	0	5
H26. 2. 22	0	3	0	2	0	5
(今回)	0	4	0	1	0	5